

令和5年3月1日発行

発行 栄東地区まちづくり未来会議

(TEL711-2203)

栄東地区まちづくり未来会議 検索



未来会議だより

--令和5年1月29日(土)--

幻想的な冬の夜を演出 栄東地区雪あかり



▲栄東地区内の施設を温かい光で彩るスノーキャンドル

1月29日、栄東地区雪あかり事業が開幕しました。今年もさっぽろ雪まつりのつどーむ会場での開催が見送られ、その代替事業として雪まつりウエルカム事業の原点であるスノーキャンドルを制作する雪あかりを開催することにしました。

この日、気温-4℃の寒空の下、日の丸会館駐車場に集まったのは、親子14組46名と栄東地区まちづくり未来会議のメンバーなど31名。一緒に130個余りのキャンドルづくりを行う「親子スノーキャンドル教室」を開催しました。



▲親子スノーキャンドル教室では、子どもも大人も無我夢中で制作に励む。持ち帰ったスノーキャンドルを自宅前に飾る参加者も。

まず、未来会議の栄町元気プロジェクト実行委員のメンバーである山田豊委員から、キャンドルづくりのポイントが説明され、すぐに作業開始です。参加した皆さんは、氷点下の寒さをもものともせず、キャンドルづくりに取り組みました。

最近では、雪遊びをする子どもをあまり見かけませんが、親子で楽しそうに共同作業する姿は何とも微笑ましく、次々にスノーキャンドルが出来上がっていきます。制作したスノーキャンドルは地区内7か所に設置され、期間中、時に暴風雪に見舞われながらも実行委員の懸命なメンテナンス作業により延べ8日間、栄東地区に幻想的な美しい夜を彩りました。毎日のメンテナンスや点灯作業に従事いただいた実行委員の皆さんに改めてお礼申し上げます。



▲期間中、厳しい寒さの中でもメンバーの並々ならぬ想いで、美しい状態が保たれた。

--令和5年2月13日(月)--

フレイル予防に健康体操

健康講話を開催



栄東連合町内会女性部では、通年行事として健康ウォーク歩こう運動を実施しています。冬は外歩きは危ないため、この日、日の丸会館で※フレイル予防のための健康体操を開催しました。

冒頭、理学療法士の齊藤貴将氏(特定非営利活動法人 HPT 訪問看護ステーション ポット東)から、健康

講話があり、フレイルとは何か、予防のためにどのようなことに気をつけ、実践するべきかを学びました。続いて講師のレクチャーを受けながら実際に体をほぐしていきます。この日参加した47名は椅子に座ったり、椅子の背もたれを支えにしながら簡単にできるストレッチに取り組みました。1時間あまりの短時間でしたが、参加者は心地よい汗を流しました。健康ウォーク歩こう運動は、令和4年度の開催は今回で終了し、新年度は5月上旬から開始の予定です。

※フレイルとは、加齢や疾患によって身体的・精神的なさまざまな機能が徐々に衰え、心身のストレスに脆弱になった状態のこと



--令和5年2月18日(土)--

過去最高 116 名が参加

雪中こども雪フェスタ大盛況!



▲そり遊びや雪上ゲームを楽しむ子どもたち。会場には元気いっばいな歓声が響き渡る。

この日、ひのまる公園で栄東地区雪中こども雪フェスタが開催されました。子どもたちに冬の楽しい外遊びで思い出をつくってもらおうと栄東地区青少年育成委員会が主催したものです。気温も上がり、天候にも恵まれ、小学生76名、幼児40名の合計116名が参加しました。新型コロナでなかなか友だちとも遊べない状況だったうっ憤を晴らすかのように、はつらつとした笑顔がいっぱいでした。

スタッフが雪を集めてつくった緩やかな坂の雪山が人気で、幼児は歓声を上げながらそりで滑り降りていました。また、民生委員・児童委員の皆さんなどがつくった雪玉の玉入れに興じたり、バケツで雪像をつくったり、思う存分雪遊びを楽しみました。また、小学生は、青少年育成委員の安田康司さんの指導で、手遊び、じゃんけん汽車ポッポ、おもちゃのチャチャチャ、そりリレーや玉入れなどを夢中で楽しみました。

最後は、凧揚げを楽しんだり、雪だるまをつくったりしました。ネコやクマなどユニークで個性豊かな雪だるまも。子どもたちの笑顔と歓声のはじけたとても楽しいイベントになったと言えます。青少年育成委員会や従事されたスタッフの皆さん、ありがとうございました。



▲そり滑り用の雪山づくりから、当日の運営・サポートまでイベントの成功を支えたスタッフの皆さん。